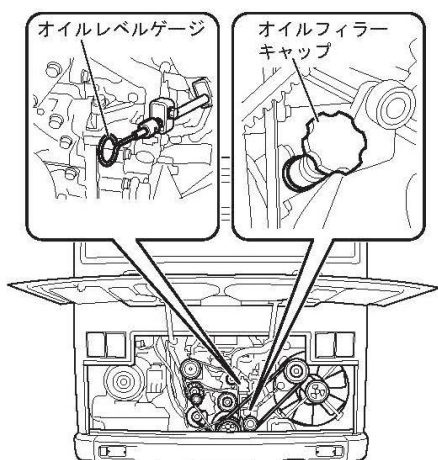


■ エンジンオイル



⚠ 注意

- ・オイルレベルゲージの「MAX」位置以上にエンジンオイルを入れないでください。エンジン故障の原因になります。

📖 知識

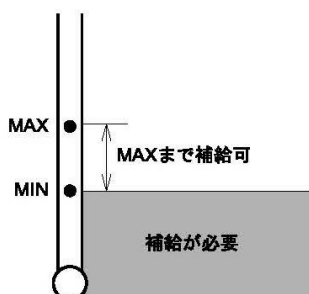
- ・点検は平坦な場所で、エンジンの始動前に行ってください。
- ・エンジン運転中では正確なオイル量は計れません。
- ・エンジン運転後にオイル量を計るときは、エンジン停止後、20～30分たってから行ってください。
- ・エンジンオイルの補給・交換要領は12-17～19ページを参照してください。

エンジンルーム（車両後部）点検扉を開けてエンジンオイルのレベルをオイルレベルゲージで点検します。エンジンルーム（車両後部）点検扉の開閉については、3-56ページを参照してください。

1. オイルレベルゲージを左に回してゆるめて外し、付着しているオイルをふき取ります。
2. 再び一杯に差し込んで静かに抜き取ります。

オイルが「MAX」と「MIN」間であれば良好です。オイルが不足していれば補給します。

3. 点検後はオイルレベルゲージを確実に差し込み、右に回してロックします。



🧑 アドバイス

- ・エンジンオイルにはいすゞ純正低アッシュオイル（DPD 対応オイル）バスコクリーンスーパー（10W-40）、バスコクリーン（10W-30）をお奨めします。
- ・オイルレベルゲージは曲げないように、注意して差し込んでください。オイルレベルゲージが変形または破損するおそれがあります。
- ・オイルレベルゲージは、ロックする位置まで確実に回してください。オイルレベルゲージがロックされていないとすき間ができ、エンジン内に水が浸入して故障するおそれがあります。



日常（運行前）点検

4-13